

2025年 2月12日

株式会社バイタルケーエスケー・ホールディングス

## 2025年3月期(第16期) 第3四半期 決算補足説明資料

©VITAL KSK HOLDINGS, INC.

株式会社バイタルケーエスケー・ホールディングスの2025年3月期 第3四半期の決算補足説明資料です。

本日開示した決算短信と併せてご覧ください。

# ① 2025年3月期 第3四半期 決算ハイライト

まず、2025年3月期 第3四半期 決算ハイライトです。

## 損益概況

単位:百万円、%

|                      | 前年同期実績  |      | 2025年3月期<br>第3四半期 実績 |      |       |       | 2025年3月期<br>通期 業績予想 |      |
|----------------------|---------|------|----------------------|------|-------|-------|---------------------|------|
|                      | 金額      | 売上比  | 金額                   | 売上比  | 前年比   | 進捗率   | 金額                  | 売上比  |
| 売上高                  | 448,909 | -    | 460,680              | -    | 102.6 | 78.1  | 590,000             | -    |
| 営業利益                 | 5,658   | 1.26 | 5,406                | 1.17 | 95.5  | 98.3  | 5,500               | 0.93 |
| 経常利益                 | 6,506   | 1.45 | 6,419                | 1.39 | 98.7  | 100.3 | 6,400               | 1.08 |
| 親会社株主に帰属する<br>四半期純利益 | 5,054   | 1.13 | 6,459                | 1.40 | 127.8 | 107.7 | 6,000               | 1.02 |

連結の損益概況については、コア事業の医薬品卸売事業において、抗がん剤を中心とした新薬創出加算品や各種ワクチンの販売増に加え、年末のインフルエンザの急速な拡大に伴う検査キットや治療薬の販売が伸長した結果、増収となりました。

一方、営業利益および経常利益については、前年の貸倒引当金の戻入の反動や情報システム投資等の販管費が増加したため、いずれも若干の減益となりました。

また、親会社株主に帰属する四半期純利益については、投資有価証券の売却を当該四半期に実施したしたことにより、二桁の増益となりました。

## 医薬品卸売事業

単位:百万円、%

|       | 前年同期実績  |      | 2025年3月期 第3四半期 実績 |      |        |       |
|-------|---------|------|-------------------|------|--------|-------|
|       | 金額      | 売上比  | 金額                | 売上比  | 増減額    | 前年比   |
| 売上高   | 423,218 | -    | 434,162           | -    | 10,943 | 102.6 |
| 売上総利益 | 30,548  | 7.22 | 31,326            | 7.22 | 777    | 102.5 |
| 販管費   | 25,337  | 5.99 | 26,251            | 6.05 | 914    | 103.6 |
| 営業利益  | 5,211   | 1.23 | 5,075             | 1.17 | ▲136   | 97.4  |

1. 新型コロナウイルス関連品の販売減少があったものの、抗がん剤や各種ワクチン、年末のインフルエンザ治療薬等の販売増により増収。
2. 前年の自治体から受託したコロナ配送収益の剥離と貸倒引当金の戻入の反動、情報システム費用等の増加で営業減益。

### < カテゴリごとの伸び率 >

|        |        |
|--------|--------|
| 医療用医薬品 | 103.0% |
| 試薬医療機器 | 96.9%  |
| 一般用医薬品 | 104.4% |

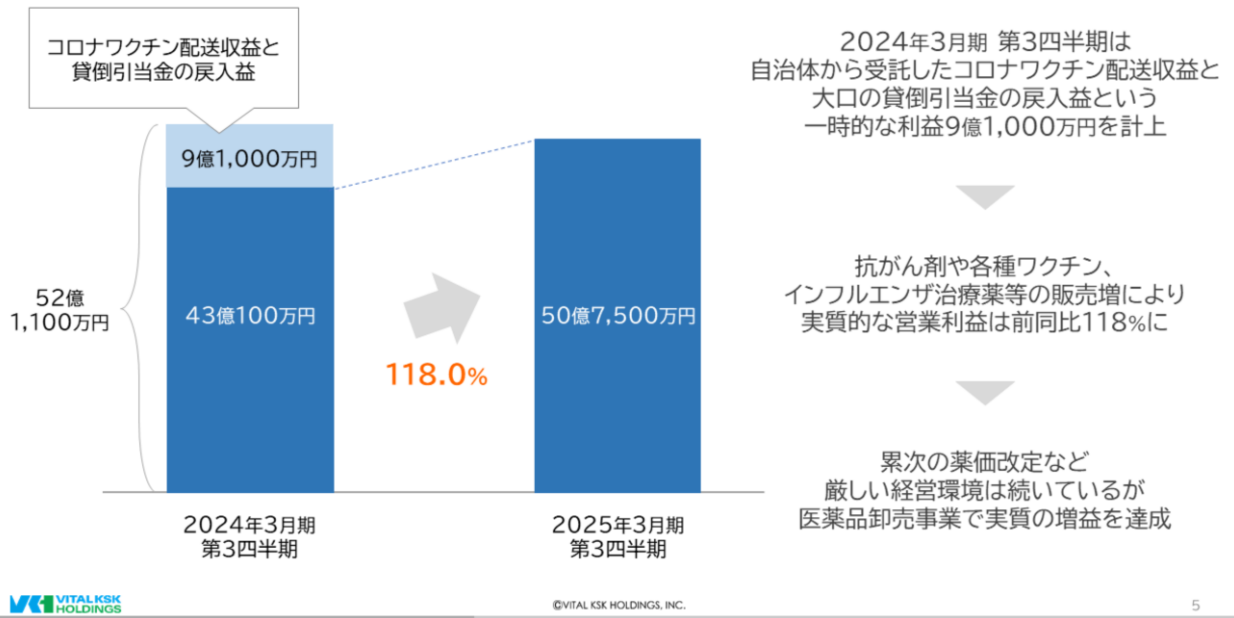
続いて、セグメント別の状況です。

まず、医薬品卸売事業については、薬価改定の影響のほか、前年同期に計上した新型コロナウイルス感染症の治療薬や検査キット等の販売やコロナワクチン配送業務受託による売上が減少するなどマイナスの影響はあったものの、先述のインフルエンザの流行による検査キットや治療薬の販売の伸長に加え、抗がん剤を中心とした新薬創出加算品および子宮頸がんワクチンや、10月から接種が開始された新たなコロナワクチン等の販売の伸長が減収分を上回り増収となりました。

利益面においては、先述の通り増収効果等によって、売上総利益は増益となったものの、前年の貸倒引当金の戻入の反動や情報システム投資等の影響を吸収しきれず、前年同期比で僅かながら減益となりました。

以上の結果、売上高は4,341億6,200万円(前年同期比102.6%)、セグメント利益(営業利益)は、50億7,500万円(前年同期比97.4%)となりました。

## ■ 医薬品卸売事業 営業利益の実質的改善



続いて、同事業の営業利益について分析した結果をご説明します。

前期は、同事業で52億1,100万円の営業利益を計上しましたが、その中には、自治体からのコロナワクチン配送受託による収益と貸倒引当金の戻入益などの、一時的な利益が9億1,000万円含まれていました。

今期はその分の利益が消失したのですが、以前から取り組んできた個々の医薬品の価値や流通コストを踏まえた丁寧な価格交渉を実践したことが功を奏し、営業利益は実質的に前同比118%となる50億7,500万円となりました。

このように、コア事業である医薬品卸売事業においては、累次の薬価改定など厳しい環境が続いておりますが、増益を達成することができました。

## ■ 薬局事業

単位:百万円、%

|       | 前年同期実績 |      | 2025年3月期 第3四半期 実績 |      |     |       |
|-------|--------|------|-------------------|------|-----|-------|
|       | 金額     | 売上比  | 金額                | 売上比  | 増減額 | 前年比   |
| 売上高   | 14,295 | -    | 14,676            | -    | 381 | 102.7 |
| 売上総利益 | 3,592  | 25.1 | 3,554             | 24.2 | ▲37 | 98.9  |
| 販管費   | 3,333  | 23.3 | 3,382             | 23.1 | 49  | 101.5 |
| 営業利益  | 259    | 1.8  | 171               | 1.2  | ▲87 | 66.3  |

1. 2024年3月に1店舗開局したことで売上高が伸長
2. 調剤技術料収入、薬学管理料収入の増大に努めるも、薬価改定の影響により減益

薬局事業については、2024年3月に1店舗開局したことで売上高が伸長した一方、利益面においては、調剤技術料収入および薬学管理料収入の増大に努めたものの、薬価改定の影響により減益となりました。

以上の結果、売上高は146億7,600万円(前年同期比102.7%)、セグメント利益(営業利益)は1億7,100万円(前年同期比66.3%)となりました。

## 動物用医薬品卸売事業

単位:百万円、%

|       | 前年同期実績 |      | 2025年3月期 第3四半期 実績 |      |     |       |
|-------|--------|------|-------------------|------|-----|-------|
|       | 金額     | 売上比  | 金額                | 売上比  | 増減額 | 前年比   |
| 売上高   | 8,472  | -    | 8,770             | -    | 297 | 103.5 |
| 売上総利益 | 1,247  | 14.7 | 1,262             | 14.4 | 15  | 101.3 |
| 販管費   | 958    | 11.3 | 1,020             | 11.6 | 61  | 106.4 |
| 営業利益  | 288    | 3.4  | 242               | 2.8  | ▲46 | 84.1  |

1. 一部商品がメーカー直販となったこと等の影響はあったが  
アローメディカル株式会社を連結子会社化したことにより、売上は伸長
2. 仕入価格の上昇等が利益を圧迫

動物用医薬品卸売事業については、一部商品がメーカー直販となったこと等の影響がありましたが、アローメディカル株式会社を連結子会社化したことで売上は伸長し87億7,000万円(前年同期比103.5%)となりました。

一方、仕入価格の上昇等が影響し、セグメント利益(営業利益)は2億4,200万円(前年同期比84.1%)となりました。

## ■ その他事業

単位:百万円、%

|       | 前年同期実績 |       | 2025年3月期 第3四半期 実績 |       |     |       |
|-------|--------|-------|-------------------|-------|-----|-------|
|       | 金額     | 売上比   | 金額                | 売上比   | 増減額 | 前年比   |
| 売上高   | 2,922  | -     | 3,071             | -     | 148 | 105.1 |
| 売上総利益 | 2,961  | 101.3 | 3,057             | 99.5  | 95  | 103.2 |
| 販管費   | 3,124  | 107.0 | 3,165             | 103.1 | 41  | 101.3 |
| 営業利益  | ▲162   | -     | ▲108              | -     | 53  | 66.8  |

1. 各事業において売上が回復
2. セグメント損失額が減少

その他事業セグメントについては、各事業において売上が回復したことで、セグメント損失額も縮小しました。

この結果、売上高は30億7,100万円(前年同期比105.1%)、セグメント損失(営業損失)は1億800万円(前年同期のセグメント損失は1億6,200万円)となりました。



## ② 投資有価証券売却益の計上について

最後に、投資有価証券売却益の計上についてです。

## ■ 投資有価証券の売却益の計上

### 1. 投資有価証券売却の理由

政策保有株式の見直しと資産の効率化及び財務体質の強化を図るため

### 2. 投資有価証券売却益の内容

- (1) 売却株式：当社の連結子会社2社が保有する上場株式
- (2) 売却期間：2024年10月10日～2024年12月26日
- (3) 投資有価証券売却益：3,235百万円(連結)

### 3. 今後の見通し

上記の投資有価証券売却益3,235百万円については、2025年3月期第3四半期決算において特別利益として計上しました。

なお、2025年3月期通期の連結業績予想につきましては、現時点で変更ございませんが今後業績予想の修正が必要となった場合は速やかにお知らせいたします。

当社では、資産の効率化及び財務体質の強化を図るため、政策保有株式の見直しを進めてまいりました。

当初は第4四半期での売却を計画しておりましたが、株式市場の動向を鑑み、主に第3四半期で計画の大半を処分し、特別利益に32億3,500万円を計上いたしました。

当社は、今後も資本効率を意識した経営を実践するため、政策保有株式の処分を加速してまいります。

## ■ 将来見通しに係る記述事項

本資料で記述されている当社の将来の計画・戦略・業績予想などは現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。

そのため、経済情勢・市場環境等の様々な要因の変化により、実際の事業内容や業績はこれらの見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることを、ご承知おきください。

従いまして、当社の業績や企業価値等をご検討される際にこれらの見通しのみで全面的に依拠することは避けていただきますようお願いいたします。

また、本資料に記述するいかなる情報も、当社の株式等の購入や売却を勧誘したりこれらに対する投資をアドバイスする目的で作成されたものではありません。

投資に関するご判断は、ご自身にてお願いいたします。

以上になります。

将来見通しに係る記述事項につきましては、ここに記載の通りです。

■ お問い合わせ先

株式会社 **バイタルケ-エスケー-ホールディングス**

コーポレートコミュニケーション部

TEL : 03-5787-8550

Mail : [ir@vitalksk.co.jp](mailto:ir@vitalksk.co.jp)

担当 : 佐藤、南城

当資料に記載された内容に関するお問い合わせは、当社コーポレートコミュニケーション部まで  
お願いいたします。